

【第4号様式】

令和8年度 第1回 保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会 相談支援部会(定例会) 議事録	
日時	令和8年4月24日(金) 15:30 ~ 17:30
開催場所	保土ヶ谷区役所 401 会議室
出席者	<p><b>計画相談事業所</b></p> <p>てらん広場、たちほ도가や、ハーモニー、タキオンネクスト、光風会相談センター、ウイング、ゆめ、いわまワークス、エススタイル、コンシェル、さーくる、地域生活支援センター、いっしょ、秋桜ネットワーク、リンクルミナス、恵和、夢21、わおん、生活SC</p> <p><b>その他事業所</b></p> <p>西部就労)、十愛病院、光の丘、コペルプラス</p> <p>区、基幹 ※敬省略</p> <p>◆受付=(区)、(基幹)記録=(生活SC) 進行管理=(わおん)</p>
欠席者	
開催形態	公開(傍聴人: 名)・非公開
議題	<p>○前半:講義「地域課題を考える」</p> <p>○後半:グループワーク</p>
議事	<p><b>1、事務局より:田中部会長(15:30-15:40) 10分</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会のあいさつ／</li> <li>・今年度の事務局紹介</li> <li>・新規参加の方のご挨拶</li> </ul> <p>リンクルミナス 4月1日開設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初参加</li> <li>コンシェル、区身障・知的、基幹</li> </ul> <p>・今年度の振返りと次年度について(※R7年度報告書、R8年度計画書)</p> <p>今年度計画→5月8日から5月15日へ変更した旨周知</p> <p>9:30~区201顔あわせ→かかるかも3階</p> <p><b>2、ミニ勉強会「地域課題を考える」(15:40-16:20) 40分</b></p> <p>① 講義:上村氏(光の丘相談室)</p> <p>※事前に「(入所施設からの地域生活移行ガイドライン)」をご一読ください。</p> <p>○上村氏の講義より一部抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援従事者は<u>ソーシャルワーカーである</u>ことを自覚し、倫理に基づき利用者様を中心とした支援を地域の中で実践する!</li> <li>→個別支援からみえてくる地域課題を抽出・集約し、区域、地域へ!</li> <li>・多職種協働、インフォーマルサービスとの連携が大事。<u>インフォーマルサービスの活用が課題!</u></li> <li>・個人と地域のストレングスに着目。</li> </ul> <p>・保土ヶ谷区地域福祉保健計画~ほっとなまちづくり~</p>

理念の確認→「つながり支えあい安心して生き生きと暮らせるまちほどがや」

- ・保土ヶ谷区自立協スローガンの確認→「知る 伝える 繋がる 広げる 保土ヶ谷」
- ・相談部会 参画→一緒に作っていくこと!皆と地域課題を抽出すること!

・市域の課題を考える

事例を通じて…入所施設の待機は深刻である

施設がないことが地域課題なのか?入りたい人はいないのでは?

【上村氏が考える課題】

→強度行動障害…人材育成

単身生活をアセスメントできる資源の開拓

地域住民へ理解の促進…地域と一緒にのお祭り、企画

ボランティアの確保や活動の支援

通所時のガイドヘルパー等の開拓

障害者支援施設に機能の見直し

入所からの地域移行に向けて保護者や従事者の考え方の見直し…衣食住の担保だけでなく、どのような地域なら生活できるのかアセスメントすることが大事!

☆どんな支援、人材、資源が必要なのかを考えることが大切。それが相談支援専門員の仕事である。

入所施設の方を受け入れられるグループホームがどれだけあるか?

地域課題は終わらないものであり、ずっと考えて続け、話し続けていくことが大切である。

自立協は現場レベルの工夫やアイデアをもちよると共に制度にも訴えていくソーシャルアクションの場でもある。

だから官民で参画となっている!

☆まとめ

相談支援専門員として以下2点に注力する。

①有効なネットワークの構築 ②地域ニーズを適切に把握し、働きかけができる

ソーシャルアクションができることが相談支援専門員の醍醐味、その場が自立協部会である

### 3、グループワーク、共有(16:20~17:10) 50分

① ミニ勉強会の感想

② 地域課題の抽出で今出来ている事、これからやりたい事。

### 4、GW 内容の共有 (17:10~17:25) 15分

【4G】

○感想

地域課題と身構えてしまう、意識しても仕方ないとあきらめたことも地域課題なのかも思った  
自分が知らない事も多いので手を広げていきたい

入所について 見える化しても実情がみえない、流れはまだみえにくい

地域課題を意識してこれなかったときき安心した

○何が出来ているか

ご家族、支援者の意識を変えていくことが出来るとよい  
人手不足の中で、どう人材育成すべきか、考えていく必要あり  
医療とのつながりが難しいところがある。  
皆で考えながらやっていけたらよい

### 【5G】

#### ○感想

地域にどれだけ受け入れ体制があるか、入所からの地域移行、GH からの地域移行も考えてい  
かないといけない

地域連携会議の話をして、長年いても近所の方はあまり知らなかったことを知れたのは成果  
一人の方を支援する中で、チームで支援することの大切さ、重要性を感じた

区分の在り方について、制度上の話も出た

評判のよろしくなかったGHがあったが、相談員や事業所の力により、良い方に変化していったケ  
ースもある。

チームで関わることで課題解決につながっていく

### 【3G】

#### ○感想

日々こなしていくことで精いっぱいだが、地域課題は遠いことではないと感じた。

課題という名前だと支援者問題と考えがちだが、地域で考えることであり、PDCA サイクルのよう  
に考えていく事が大事

#### ○やっていること

児童発達支援の事業所として色々知ることが出来た

それぞれ色々なことに取り組んでいる、視点が変化して色々みえてきていることが挙げた。

それぞれの取り組みとして、利用しているお子さんだが、ご家族の支援について一緒に考えていけ  
ないか、ご家族の想いを受け止めてもらえる場所はあるか。

重身の短期入所を受けている事業所がある、家族のレスパイト、家族の支援も考えていく事が大  
事

拠点のコーディネーター整備がまだだが、保土ヶ谷区を発進拠点にしていきたいという心強い話  
があった

### 【2G】

#### ○感想

今後課題をみつけていきたい

自立協の役割が明確になった

1 次相談としては地域課題がみえやすい、小さな日々のことが地域課題に繋がっていく、そう捉え  
ていきたい

体験する場が少ないことが課題、他区だと使えない資源があったり、のぞむ体験の場を市域で検  
討していきたい

地域の方の障害理解を考えていけたらよい

作業所で地域の方にボランティアやサポートを得られている

資源の少なさがある。移動の制限があり、選択肢が狭まっている

始まりと終わりが異なるので移動支援をやらしてもらえない、ヘルパーの高齢化で担い手が少ない手帳取得していないグレーゾーンの方で支援に繋がっていない家庭も多いのでは

#### 【IG】

入所施設から出るように言われても家族は不安感がある。ならばどうすればよいか？入所の方が安心して出られるシステム作りが出来ればよい

施設内だけだと行き詰るので、他事業所関わるのが大事

地域に出ていく事が大事。アンテナをはり、繋がることの重要性を感じた

他部会繋がることでGH部会など同じような話題ができるとうい。縦割りになっている現実を横につないでいけるかが今後の解決策である

地域課題は細分化して考えることが次のステップに繋がる

色々な部会に参加することで広がっていく

#### 【総括:上村氏より】

相談員の仕事は情報共有とマインドセットだと再確認した。

事業所をわたり歩くのは専門員ならでは。

共有して正しい課題を共有し、煮詰まっている職員をマインドセットしてあげることが大事である。

### 5、インフォメーション等（17:25～17:30）5分

#### ○事業所訪問について

【5月の予定】⇒ 5月7日（木）16:30 ⑧リンクルミナス相談支援事業所保土ヶ谷

5月12日（火）10:30 相談支援いっしょ。

5月26日（火）AM、PM 空きあり 募集中です。

#### ○計画相談の実施状況

【計画相談の実施状況】R8年2月末実績（3月主任連絡会）※R8年1月との比較

	対象者数 (障福サービス + 地域相談利用 者)	計画相談 決定数	計画相談未決定者				実施率 (計画相談+介 護保険利用 者)	事業所数
			介護保険利用 者 (ケアプラン)	セルフプラン 希望者	事業者が 見つからない	その他		
保土ヶ谷	1,834 (+13)	933 (+3)	74 (+3)	385 (+24)	435 (+2)	7	54.9% (-0.4)	24 (±0)
18区計	29,639 (+106)	16,796 (+61)	1,498 (+1)	6,465 (+79)	4,787 (-34)	93	61.7% (±0)	283 (-2)

#### 【その他基幹等より情報共有】

・ヒアリングから把握した計画相談支援の実施状況について

事業所訪問報告を参照ください

目的はマインドセットの意味もあり、主任や部会事務局、基幹で協力して年1回訪問している。連携強化、相互に育成ができるとうい。

現状と課題について、人員不足で新規受付が出来ない、孤立化、加算がとれない、依存症・強度行動障害、移行期の支援について話があがっている。

・成年後見制度の活用について、年1回はサポートネットに計画相談事業所も参加し、事例

検討実施しているので、その機会を活用して制度にふれて下さい。

・区おしごとフェア 7月5日開催 事業所として参加して頂けるとよい。

・光風会：日中活動先 ごんだ村、ひかりば、みたてや（4月から新規オープン）、通所者募集中！

・十愛病院：毎年相談職対象に勉強会を実施。GW形式。家族支援、暴力のメカニズム、アウトリーチ的な支援に繋がりにくい方の3つのワークを予定。

病院にて実施するが、事業所訪問でワーク実施も可能。チラシを週明けメール送信予定。

## 6、まとめ挨拶

田中会長より ・そのほか、事業所 PR、研修案内 等

・次回予告

・メのあいさつ

次回 相談支援部会

日時：令和7年5月15日（金）9：30～11：30

① CW/MSW 顔合わせ 場所：保土ヶ谷区役所 501

② 交流会 場所：かるがも3階多目的ホール